



*館内で展示予定。蔵書にない本は可能な限り購入します。

岩内 勇佑先生(数学)

『負ける人は無駄な練習をする
:卓球王者のメンタリティー』水谷 隼著
卓球の全日本選手権で10回優勝した水谷選手が、トップになる選手はどういうものかを述べている。
卓球をしている人、していない人、指導者やビジネスマンにもオススメの1冊!

新田 真之先生(理科)

『はたらく細胞』清水 茜 著

全6巻の漫画ですが、人体のしくみについてわかりやすくまとめられています。とくに2年生の「生物基礎」の「免疫」分野の理解につながります。私たちの体は細胞でできていて、その細胞も生きており、それぞれ役割があるということを知ることができます。アニメ化もされて話題となったので、アニメを見てもいいと思います。

中山 明日香先生(保健体育)

『新なでしこゴール!! :女子のためのサッカーの本』
砂坂 美紀[ほか]著

まだ競技人口が少ない女子サッカーについて、練習方法やメンタルトレーニングについて等が書かれている本です。サッカーをしている人、これからサッカーをしたい人、少しでもサッカーに興味のある人読んでみてください。

中野 いずみ先生(地歴公民)

『戦国姫 花の巻』(戦国姫シリーズ)

藤咲あゆな 作、マルイノ 絵

私も現在、すきま時間に少しずつ読んでいるところで全部読みきれていませんが、このシリーズは通説をもとにそれぞれの姫の視点で描かれています。あれ?同じような話あったなと読んでいくうちにそれぞれの姫で時代背景が繋がっていき、ところどころ解説や家系図などもあり、歴史が苦手な人でも読みやすいのではないかと思います。イラストもかわいく描かれていますので、是非手にとってみて、読んでみてほしいなと思います。

加納 千尋先生(英語)

『定本黒部の山賊:アルプスの怪』伊藤正一 著

第二次世界大戦が終了した1945年、当時24歳の伊藤さんは黒部川の源流が流れ出す地域の山小屋の経営権を買い取り、山小屋経営の一步を踏み出します。登山道すらない原始の場所において唯一土地勘があるのは「山賊」と呼ばれた4人の猟師たちだけでした。本書では伊藤さんが彼らとの関わりを忠実に描き、同時に黒部ダムができる前の黒部最奥地の様子を伝えています。昭和39年に刊行されたものですが、文明の生活に慣れてしまった私に大きな刺激を与えてくれました。

西岡 登先生(理科)

『銃・病原菌・鉄(上)(下)』ジャレド・ダイヤモンド著
1997年に上梓、2000年に日本語版が出版されてから20年以上が過ぎ、未だに新鮮な発見のある名著。

アメリカ大陸の先住民はなぜ、旧大陸(ヨーロッパ)の住民に征服されたのか、なぜその逆は起こらなかったのか?という中心命題に対し、「それは人々の置かれた環境の差異によるものであり、生物学的な差異によるものではない。」という結論に至る論理的思考に納得させられる。

筆者は医学部での生理学から研究生活をスタートさせたが、進化生物学、生物地理学、文化人類学、言語学等を駆使して、世界史に科学的視点を取り入れた考察を進めている。また、科学者の視点のみならず、2016年出版された『危機と人類』(上)(下)では、世界史への造詣の深さに驚かされる。この本も2020年に日経新聞出版より文庫本が出版されている。

4部19章(各章完結)からなる構成で、文明・農耕・牧畜・文字・発明(技術)・社会(国家)・インカ帝国・太平洋諸国・中国・アフリカ等多岐に渡るテーマを取り上げている。どこから読み始めてもOK。

帯山 俊一郎先生(英語)

『半暮刻』月村了衛 著

『正体』染井為人 著

『燕は戻ってこない』桐野夏生 著

最近読んだ中で面白かった本を3冊紹介します。一番面白かった本は、月村了衛の「半暮刻」です。本の帯に養老孟司氏が「現代社会の若者の生き方や倫理を活写する」と書いてます。一気読み必至です。大手ブラック企業、政治家、反社会勢力の「悪」を余すところなく取り上げ、現在の日本に起きている問題を指摘しています。ぜひ一読をお勧めします。

「正体」は映画化もされ、ネットフリックスで第7位(日本)に入っています。濡れ衣を着せられた未成年死刑囚が脱獄し、真実を明らかにしようとする話です。テーマは冤罪で、内容にグイグイ引き込まれますが、とても悲しい結末に終わります。

「燕は戻ってこない」は伏見高校の図書室でたまたま見つけた本です。作者の桐野夏生は好きな作家の一人で、人間の愚かさや身勝手さをとても上手に表現します。貧困、非正規雇用に苦しむ女性が他人に子宮を貸し出し代理母になります。決して楽しい内容ではありませんが読むのをやめられなくなります。

出村 礼子先生(書道)

『我慢して生きるほど人生は長くない』鈴木裕介 著

「自分らしい人生」を生きるには、

「親が言うから」

「先生が言うから」

「常識だから」

という言葉をよく聞きますが、アドバイスを受けとめた上で、できない言い訳にせず、「自分らしく生きる」ことについて、今一度、考えてみて下さい。

